

## 平成28年度 サマースクール実施要項

### I. 目的

- 学外の研究者や先輩から直接学び、将来の進路について意欲を喚起し、国際的に貢献できる力を養う。
- 自己教育力を身につけるために、自発的な学習活動やプレゼンテーションに取り組む。

### II. 日程・場所

#### 【第1日】のぞみ発表会（分科会・予選）

平成28年7月20日（水） 13:00 ~ 14:30（予定）

集合会場 各自の発表会場

分科会会場 各自の発表会場

#### 【第2日】のぞみ発表会（全体会・決勝）

平成27年7月21日（木） 9:55 ~ 12:15（予定）

集合会場 視聴覚教室

全体会会場 視聴覚教室

#### 【第3日】京都研修

平成27年7月22日（金） 9:15 ~ 16:30

全体会会場（午前） 京都大学医学部芝蘭会館

学部別訪問（午後） 京都大学医学部芝蘭会館

再生医科学研究所・工学部・農学部

薬学部・医学部・京都大学総合博物館

### III. 活動展開

#### 【第1日】のぞみ発表会（分科会・予選）

13:00 各自の発表会場集合（予定）

13:00 分科会開始（予定）

14:30 分科会終了（予定）

#### 【第2日】のぞみ発表会（全体会・決勝）

9:55 視聴覚教室集合（予定）

10:30 全体会開始（予定）

12:15 全体会終了（予定）

### 【第3日】京都研修

① 9:15 京都大学医学部芝蘭会館 集合  
☆ 地図参照 京阪「出町柳」駅から徒歩15分

② 9:30 ~ 11:30 全体会  
挨拶：柴 浩司 校長  
講演：田畑 泰彦 先生 京都大学再生医科学研究所 教授

③ 11:30 ~ 12:30 昼食（京都大学キャンパスにて）

④ 昼食後の集合時間・場所

工学部・農学部 … 12:30 時計台前集合

再生医科学研究所・薬学部・医学部 … 12:30 芝蘭会館前集合

文系 … 12:50 芝蘭会館稲盛ホール  
（文系は午前の会場と同じ）

⑤ 13:00~15:00 文理に分かれての学部訪問

<理系> 研究室見学（学部別）

再生医科学研究所	教授 田畑 泰彦 先生
エネルギー科学研究科（工学部）	教授 平藤 哲司 先生
生命科学研究科（農学部）	教授 永尾 雅哉 先生
薬学研究科	教授 金子 周司 先生
医学研究科	教授 高橋 良輔 先生

<文系> 卒業生（京大・文系学部）との交流

（文学部	1回生）
（総合人間学部	1回生）
（経済学部	1回生）
（経済学部	1回生）
（経済学部	1回生）
（文学部	4回生）
（教育学部	4回生）

⑥ 15:30~16:30 京都大学総合博物館見学

⑦ 16:30ごろ 解散



IV. 京都研修（第3日）の服装・携行品

- ・標準服（制服）で研修に臨むこと
- ・昼食代、交通費（自宅→京阪「出町柳」、京阪「神宮丸太町」→自宅）を持参

V. 救急対策

京都大学病院（TEL 075-751-3111）へ救急搬送します。

## VI. 学部訪問

### 田畑泰彦（たばた やすひこ）先生 のプロフィール

京都大学再生医科学研究所 生体組織工学研究部門生体材料学分野 教授

京都大学工学博士。京都大学医学博士。京都大学薬学博士。

1959年 2月生まれ、大阪府出身。

1981年 京都大学工学部高分子化学科卒業。同年同大学医用高分子研究センター助手。

1990年 生体医療工学研究センター助手。

1991～1992年より米国マサチューセッツ工科大学、  
ハーバード大学医学部外科客員研究員。

1996年 生体医療工学研究センター助教授。

2000年から 現職。

1990年 日本バイオマテリアル学会科学奨励賞授賞。

2002年 日本バイオマテリアル学会学会賞授賞。

2006年 医学生物工学米国賞

(Award of American Institute for Medical and Biological Engineering)

2008年 バイオマテリアル科学工学国際賞

(Award of Biomaterials Science and Engineering)

2011年 日本DDS学会学会賞水島賞

2011年 Chandra P.Sharma award of the Society of Biomaterials  
& Artificial Organs (India)

2012年 再生医療学会国際賞

(Award of Tissue Engineering and Regenerative Medicine Society)

2012年 経済産業省「再生医療モノづくり企業支援活動」感謝状

2014年 日本再生医療学会学会賞

#### 【共同受賞】

2001年 第5回心臓血管病学カンファランス 若手研究奨励賞

2001年 武田計測知財団 研究奨励賞 優秀研究賞

2002年 第1回日本再生医療学会総会 優秀演題賞 2題

2002年 第11回日本泌尿器科学会 会長賞（基礎研究部門最優秀演題）

#### 【職歴】

昭和63年11月16日 京都大学医用高分子研究センター助手任官

平成 2年 6月 8日 京大学生体医療工学研究センター助手任官

平成 8年 7月16日 京大学生体医療工学研究センター助教授任官

平成10年 4月 9日 京都大学再生医科学研究所助教授任官

平成12年 3月16日 京都大学再生医科学研究所教授任官

東京大学大学院工学研究科、京都大学大学院医学研究科、京都大学大学院工学研究科、  
京都大学大学院薬学研究科、東京工業大学大学院工学研究科、大阪大学大学院医学研究科、  
大阪大学大学院歯学研究科、神戸大学大学院医学研究科、北海道大学大学院医学研究科、  
岩手医科大学歯学部、新潟大学大学院歯学研究科、名古屋大学工学研究科、  
京都府立医科大学、岡山大学大学院工学研究科、岡山大学大学院歯学研究科、  
九州歯科大学、日本歯科大学などの客員教授。

日本再生医療学会理事、日本DDS学会理事、日本炎症・再生医学会理事、  
硬組織再生生物学会理事、日本バイオマテリアル学会理事、  
世界Tissue Engineering and Regenerative Medicine学会理事、  
日本人工臓器学会評議員、日本創傷治療学会評議員、

第21期日本学術会議連携委員（第三部）、

国際学術雑誌：Advanced Drug Delivery Reviews, Tissue Engineering,  
J.Biomaterial Science, Polymer Eds.,  
J. Biomedical Nanotechnology などの編集委員。

第21期日本学術会議連携委員（第三部）、

American Institute for Medical and Biological Engineering (AIMBE) フェロー

#### 【学 歴】

昭和52年 3月 1日 大阪府立大手前高等学校卒業  
昭和52年 4月 1日 京都大学工学部高分子化学科入学  
昭和56年 3月24日 同上 卒業  
昭和56年 4月 1日 京都大学大学院工学研究科博士前期課程高分子化学専攻入学  
昭和58年 3月23日 同上 修了  
昭和58年 4月 1日 京都大学大学院工学研究科博士後期課程高分子化学専攻入学  
昭和63年 1月23日 京都大学工学博士取得  
平成14年 3月25日 京都大学医学博士取得  
平成15年 9月24日 京都大学薬学博士取得

#### 【研究歴】

昭和61年 4月 1日 京都大学医用高分子研究センター研修員  
昭和63年 1月24日 通産省工業技術院機械研究所非常勤研究員  
～3月31日  
平成 1年 5月18日 平成1年度文部省がん特別研究I 村松 繁班“若い研究者”  
～2年 3月31日  
平成 2年 5月18日 平成2年度文部省がん特別研究I 高津聖志班“若い研究者”  
～3年 3月31日  
平成 3年 4月21日 米国マサチューセッツ工科大学 (MIT)、  
～4年 3月28日 米国ハーバード大学  
学部外科 Visiting Scientist

## 【研究目的と抱負】

現在の研究目的は、基礎生物医学研究あるいは医療（予防、診断、治療）に応用可能な方法、手段、および技術を材料科学の立場に立って研究開発していくことである。生体組織工学、DDS、幹細胞工学、生殖工学を目指した生体吸収性あるいは非吸収性の生体材料（体内あるいは生体成分と接触して使用する材料）の開発研究を行っている。研究の性格上、国内外の医歯学、獣医学、薬学の大学、研究機関あるいは企業との共同研究が多く、知的財産権および産業化に関しても関心をもっている。基礎研究が重要であることは、もちろん言うまでもないことであるが、「研究成果を世の中に還元すること」も大切であると、常々考えている。移植医療、再建外科医療、再生医療、薬物治療など、現在の医療には多くの医薬用材料が用いられているにもかかわらず、これらの材料の研究者はきわめて少ない。材料科学のバックグラウンドをもち、医歯学、生物学、薬学にflexibilityのある材料科学研究者を育て、本当に患者さんのためになる材料の研究開発を行って行きたいと思っている。抱負は生命科学のわかる材料科学研究者の育成。

## 主な著書：

- 田畑泰彦 編 ここまで進んだ再生医療の実際 (株)羊土社 2003年  
田畑泰彦 編 ドラッグデリバリーシステム  
DDS技術の新たな展開とその活用法 (株)メディカルドリ 2003年  
ゲノミックス・プロテオミックスの新展開 (株)エヌ・ティー・エス 2004年  
田畑泰彦 編 再生医療へのブレークスルー その革新技術と今後の方向性  
(株)メディカルドリ 2004年  
田畑泰彦、岡野光夫 編 ティッシュエンジニアリング2005 日本医学館 2005年  
田畑泰彦 編 先端生物医学研究・医療のための遺伝子導入テクノロジー  
(株)メディカルドリ 2006年  
田畑泰彦 編 再生医療のためのバイオマテリアル (株)コロナ社 2006年  
田畑泰彦 編 細胞増殖因子と再生医療 株式会社メディカルレビュー社 2006年  
田畑泰彦、岡野光夫 編 ティッシュエンジニアリング2006 日本医学館 2006年  
田畑泰彦 編 絵で見てわかるナノDDS (株)メディカルドリ 2007年  
田畑泰彦、岡野光夫 編 ティッシュエンジニアリング2007 日本医学館 2007年  
佐治英郎、田畑泰彦 編 ますます広がる分子イメージング技術 (株)メディカルドリ  
2008年  
原島秀吉、田畑泰彦 編 ウイルスを用いない遺伝子導入法 (株)メディカルドリ  
2008年  
田畑泰彦 編 進みつつける細胞移植治療の実際、上巻、下巻 (株)メディカルドリ  
2008年  
田畑泰彦 編 患者までとどいている再生誘導治療 (株)メディカルドリ2009年  
田畑泰彦 編 ますます重要になる細胞周辺環境（細胞ニッチ）の最新科学技術  
(株)メディカルドリ2009年  
田畑泰彦 編 ものづくり技術からみる再生医療－細胞研究・創薬・治療－  
シーエムシー出版2011年

- 田畑泰彦 分筆 イメージング 最先端医療システムOne Point 10  
共立出版株式会社 2012年
- 田畑泰彦 編 「ここまで広がるドラッグ徐放技術の最前線」  
(株)メディカルドリ2013年
- 田畑泰彦 分筆 化学マスター講座 バイオマテリアル 丸善出版(株) 2013年
- 田畑泰彦 分筆 組織工学 再生医療叢書2 (株)朝倉書店 2013年
- 田畑泰彦 編 細胞の3次元組織化に不可欠な最先端材料技術ー再生医療、その支援分野(細胞研究、創薬研究)への応用と発展のためにー  
(株)メディカルドリ2014年
- 田畑泰彦 自然治癒力を介して病気を治す。体にやさしい医療「再生医療」  
ー細胞を元気づけて病気を治すー (株)メディカルドリ2014年
- 田畑泰彦 バイオマテリアル 東京化学同人(株) 2016年